

鮭川出張所河川愛護モニタ－通信Vol.50

真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。

質問

おだやかでゆっくり水が流れています。さぎがいました。魚をとっているのだろうか。

サギは日本各地にいる身近な野鳥で、魚やカエルなどをエサとし水辺にいる鳥なので、魚をとっていたのかもしれないですね。サギは、首をS字に折り曲げて飛ぶのが特徴的な鳥です。

質問

たにしがいました。たにしは水のきれいなところにいるいきものなのだろうか。

タニシはあまりきれいな川にはいないと言われていたますが、田んぼや用水路、流れのゆるやかな川などに生息します。タニシは、コケなどを食べ水をきれいにしてくれるので、水槽に入れるとそうじの役割をしてくれます。実は、すごい力を持っているんですね。

質問

川に水門のようなものがありました。何をするためのものなのだろうか。

水門とは、真室川第三排水樋管のことではないでしょうか？ふだんは、下にあるゲートが開いて生活排水や雨水を川に流しています。しかし大雨が降ると川の水がどんどん増え水位が高くなり逆流して、住宅地や田畑に流れてしまう危険があるので、ゲートを閉めて水があふれなように操作する施設です。

樋管のしくみ

樋管はどのようにして操作するのか図で説明します。この操作をしてしてくれるのが「水門等水位観測員」のみなさんです。



大雨が降るとたくさんの水が川に流れ込むため、川の水位が高くなります。



川の水が住宅地や田んぼに流れてくるのを防ぐためゲートを閉めます。



雨がやんで川の水位が低くなります。



ゲートを開け、水路の水があふれないように川に流します。

環境委員会のみなさんたくさんの報告ありがとうございました。